

製品安全データシート

作成日:

2011年10月20日

1. 製品及び会社情報

製品名: スピネアタック

会社名: 住化グリーン株式会社
 住所: 〒104-0032 東京都中央区八丁堀四丁目5番4号 ダヴィンチ桜橋
 担当部門: 営業企画部
 電話番号: 03-3523-8070 FAX:03-3523-8071

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

自然発火性固体 区分外

自己発熱性化学品 区分外

水反応可燃性化学品 区分外

有機酸化物 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分外

急性毒性(経皮) 区分外

皮膚腐食性・刺激性 区分外

眼刺激性 区分外

皮膚感作性 区分外

発ガン性(結晶質シリカ) 区分1

生殖性 区分外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分3

水生環境慢性有害性 区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

発ガンのおそれ
 水生生物に有害
 長期的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 指定された個人用保護具を使用すること。
 環境への放出は避けること。

応急措置

暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の
 廃棄物処理業者に業務委託すること。

他の危険有害性

蚕・ミツバチに対して影響があるので注意する。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

農薬の種類名

スピネトラム 水和剤

有効成分の化学名と分子式

有効成分①

化学名 (一般名)

(1S,2R,5R,7R,9R,10S,14R,15S,19S)-7-(6-デオキシ-3-0-エチル-2,4-ジ-0-メチル- α -L-マンピラノシロキシ)-15-[(2R,5S,6R)-5-(ジメチルアミノ)テトラヒド-6-メチルピラン-2-イルオキシ]-19-エチル-14-メチル-20-オキサテトラクロ[10,10,0,0^{2,10},0^{5,9}]トコサ-11-エン-13,21-ジオン (スピネトラム-J)

化学特性

C₄₂H₆₉NO₁₀

含有量(純度)

目標値19.2%

官報公示整理番号

化審法

非該当

安衛法

確認中

CAS番号

187166-40-1

有効成分②

| | |
|------------------|--|
| 化学名 (一般名) | (1S,2R,5R,7R,9R,10S,14R,15S,19S)-7-(6-テ`オキシ-3-0-エチル-2,4-ジ`0-メチル- α -L-マンピラ/シルオキシ)-15-[(2R,5S,6R)-5-(ジ`メチルアミ)テトラヒド`ロ-6-メチルピラン-2-イルオキシ]-19-エチル-14-メチル-20-オキサテランクロ[10,10,0,0 ^{2,10} ,0 ^{5,9}]ト`ロサ-11-エン-13,21-ジオン(スピネトラム`L) |
| 化学特性 | |
| 含有量(純度) | C ₄₃ H ₆₉ NO ₁₀ |
| 官報公示整理番号 | 目標値 5.8% |
| 化審法 | 非該当 |
| 安衛法 | 確認中 |
| CAS番号 | 187166-15-0 |

その他成分含有量 海面活性剤、鉱物質微粉 等
75.0%

成分及び含有量

| 危険有害成分 | 含有量 | PRTR法 | 安衛法 | 毒劇法 | CAS番号 |
|----------|---------|-------|------------|-----|--------------------------|
| スピネトラム原体 | 25.0% | 非該当 | 確認中 | 非該当 | 187166-40-1 |
| シリカ | 0.37%未満 | 非該当 | 312(≥0.1%) | 非該当 | 187166-15-0 7631-86-9 |

4. 応急措置

吸入した場合

被曝者を直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、体を毛布などで覆い、保温して安静に保つ。速やかに医師の診断を受ける。呼吸が弱かったり、止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で酸素吸入または人工呼吸を行う。呼吸をしていて嘔吐がある場合は頭を横に向ける。意識がない場合は口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

目に入った場合

清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗浄する。コップ1~2杯の水または牛乳を与え、胃内で薄めてもよい。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。直ちに医師の診断を受ける。必要に応じて人工呼吸や酸素吸入を行う。呼吸をしていて嘔吐がある場合には、頭を横に向ける。意識がない場合は、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてはならない。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を多量の水と石鹸で良く洗う。異常がある場合や、気分が悪いときは医師の診療を受ける。

応急措置をする者の保護

救助者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグル、マスク、保護衣などの保護具を着用する。汚染された衣類や保護具を取り除く。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末、二酸化炭素、乾燥砂(初期火災)

火災時の特有の危険有害性

泡消火剤、水噴霧(大規模火災)

燃焼ガスには、一酸化炭素の他、窒素酸化物等の有害ガスが含まれる恐れがあるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意する。消火水が河川等に流入しないように気をつける。

特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は風上から行い、火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。燃焼または高温により有害ガス(一酸化炭素、窒素酸化物等)が発生する恐れがあるので、呼吸用保護具を着用する。容器周辺が火災のときは、容器を安全な場所に移動する。消火のための放水等により環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

消火活動は風上から行い有害ガスの吸入を避ける。必ず、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

室内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には、適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ミスト、ガスを吸入しないようにする。風下の人を退避させ、風上から作業する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれた場所は

環境に対する注意事項 除去方法

滑りやすいので注意する。
漏出物を河川や下水に流してはいけない。
飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。適切ならば、粉塵を防ぐためにまず湿らせる。真空で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で回収する。汚染した箇所を洗剤と水でよく洗浄する。洗浄水は全て密閉できる容器(廃棄物入れ)に回収する。特に無し

二次災害防止策

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

換気の良い場所で取り扱う。屋外で取扱う場合は、できるだけ風上から作業する。取扱い場所には関係者以外の立入りを禁止する。取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置する。着衣、皮膚、粘膜に触れたり、適切な保護具を着用して取扱う。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔などをよく洗い、うがいをする。また、休憩場所には汚染場所には汚染された保護具を持ち込んではいならない。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用は禁止する。加熱したり、摩擦、衝撃を与えない。工具は火花防止型のものを用いる。容器を転倒、落下させる、引きずるまたは容器に衝撃を加える等の粗暴な取扱いをしない。全体換気設備のあるところで取扱う。

注意事項

保管

保管条件

直射日光を避け、冷暗所に保管する。容器は密閉し、異物の混入を避けて、通気の良い場所に保管する。

技術的対策

通風を良くし、蒸気が滞留しないようにする。可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。

混触禁止物質

情報なし

容器包装材料

情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

取り扱いの際はできるだけ密閉された装置、機器、または局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに、緊急時に洗身シャワー、手洗い、洗眼を行うための設備を設ける。

許容濃度

管理濃度 未設定

日本産業衛生学会(2008年度版) 未設定

ACGIH(2008年度版) 未設定

保護具

呼吸器の保護具

防塵マスク

手の保護具

不浸透性手袋

眼の保護具

保護眼鏡、防災面

皮膚及び身体の保護具

保護服、帽子、ゴム等の前掛け、長靴 等

9. 物理的及び化学的性質

外観：

物理的状态

固体

形状

細粒

色

類白色

臭い：

情報なし

pH

8.7

引火点

情報なし

燃焼限界—上限、下限(%)

情報なし

比重(相対密度)

0.54

溶解性

情報なし

その他のデータ

情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の貯蔵・取り扱いにおいて安定である。

危険有害反応性

情報無し

避けるべき条件

情報無し

混触禁止物質

情報無し

危険有害な分解性生物

燃焼により一酸化炭素、窒素酸化物が発生する恐れがある。

11. 有害性情報

| | | |
|-----------------|-------|--|
| 急性経口毒性 | ラット雌 | >5000mg/kg |
| 急性経皮毒性 | ラット雄雌 | >5000mg/kg |
| 眼刺激性試験 | ウサギ | 刺激性あり。48時間以内に回復。 |
| 皮膚刺激性 | ウサギ | 刺激性あり。48時間以内に回復。 |
| 皮膚感作性 | モルモット | 感作性なし |
| 発ガン性 | | 発がんのおそれ(シリカ) |
| 生殖毒性 | | ラット2世代繁殖性試験、ラット催奇形性試験、ウサギ催奇形性試験のいずれの試験においても催奇性を疑わせるような影響は認められなかった。 |
| 特定標的臓器毒性 (単回暴露) | | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性 (反復暴露) | | 情報なし |
| 吸引性呼吸有害性 | | 情報なし |
| その他のデータ | | 情報なし |

1 2. 環境影響情報

| | |
|---------|--|
| 生態毒性 | 水生環境有害性(急性): |
| | コイ LC50(96hr) 24 mg/L |
| | オオミジンコ EC50(48hr) >24mg/L |
| | 単細胞 緑藻類 (Pseudokirchneriella Subcapitata) ErC50(0h-72h) 19mg/L |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生体蓄積性 | 情報なし |
| 土壤中の移動性 | 情報なし |

1 3. 廃棄上の注意

| | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。 |
| 汚染容器及び包装 | 空容器を廃棄する場合は、内容物を使いきった後に適切に処理する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。 |

1 4. 輸送上の注意

| | |
|----------------|---|
| 国際規制 | |
| 国連分類 | 非該当 |
| 国連番号 | — |
| 容器等級 | 非該当 |
| 海洋汚染物質 | 非該当 |
| 国内規制 | 輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。 |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | 容器の破損、漏れがないことを確かめる。荷崩れ防止を確実に行う。転倒、落下、破損がないよう積み込む。車輦、船舶には保護具を備える他、緊急時の処理に必要な消火器工具などを備えておく。 |

1 5. 適用法令

| | |
|-----------|-----------------------------------|
| * 農薬取締法 | 農薬登録番号: 22983 |
| * 労働安全衛生法 | 結晶質シリカ: 安衛法57条の2第1項 通知対象物質政令番号312 |

1 6. その他の情報

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成した一般的取り扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。ヒトに対する危険、有害性の評価はかならずしも充分ではありませんので取り扱いには充分注意を払ってください。